



## 設備を守る、施設を守る 防食・防水の工法と技術 1

ニッシン・ジャパン株式会社  
 東京都大田区池上4-3-11  
 tel 03-3754-7622 fax 03-3754-7623  
 www.nissin-jpn.com

工法	施工イメージ	施工イメージ	内容
配管・フランジ防食			<p>ペトロラタム系防食テープ(デンゾーテープ)にて、栈橋配管、プラント内の配管に巻付けることで長期間防食効果が続き、フランジも同時施工することにより、ボルトの錆発生も無く、交換、点検が容易になります。(国内40年以上の実績があります。)</p>  <p>30年以上経過した栈橋配管。印字が残っている</p>
雨水浸入防止			<p>タンク裾周りのコンクリート基礎に雨水が浸入して底板やアニューラプレートの腐食を防ぐ工法で、ペトロラタム系防食テープ(デンゾーテープ)で基礎のコンクリートとともにアンカーBOXも防水、防食施工し、30年間も防水、防食を維持しています。</p>  <p>シリコン粘着シート(イヌバシール)で雨水浸入防止</p>
高温配管防食			<p>高温配管防食、煙突のノズル防食、高温タンクの雨水浸入防止にはナイトテープを使用します。繊維と耐熱コンパウンドの一体化した硬皮膜があり、対象の温度により使い分け、巻き付けや貼り付けて施工が可能な特殊防食テープです。 (100、200、400℃ タイプ)</p>  <p>ナイトラギーテープによる高温配管保温材の防食</p>
CDR工法 基礎部保護			<p>架台部のコンクリート基礎は、鋼材の錆が進行して、アンカーボルトがサビでふくらみコンクリートが剥落、欠損します。金属部を防食処理(ペトロラタム系)し、コンクリート部を形成して形を整え、仕上げにシリコン系塗料塗布又はFRP樹脂で仕上げます。</p>  <p>コンクリート強化剤、充填材、表面仕上げ材を塗布</p>

裏面もご覧ください。



## 設備を守る、施設を守る 防食・防水の工法と技術 2

工法	施工イメージ	施工イメージ	内容	
OZ工法			炭素繊維と樹脂で補強し、鋼板の同等の強度が得られ、配管の腐食による強度低下を補います。この工法は火気を使用せず、優れた材料の特長を生かした工法により、短期間で防食+補強が可能です。	 特に配管の架台部は腐食が激しく危険な状態
コンクリート補修			橋脚の打継ぎ箇所、防液堤、擁壁の繋ぎ、クラック等から雨水が浸入しエフロが出てコンクリートが劣化します。浸透性コンクリート改質材を塗布し、800%の伸縮率のある耐候性シリコンシートで補修します。コンクリート劣化防止は状況により材料を選択いたします。	 シリコンシートによる、継ぎ目の雨水侵入防止
耐薬品、耐候塗料			フッ素樹脂防食塗料(FXクリアー)は特に耐薬品、亜硫酸ガスに強く、耐候性、接着力に優れ薬品タンクや、雰囲気の悪い場所での鋼材の防食に適しています。 ガラスフレーク入りで厚みが付く、クリアー塗料(573)はノ分子より細	 シリコン樹脂塗料は附着性能が高く、耐汚染性、伸縮性がありコンクリート、鋼材の防食性を発揮
煙突耐震補強 剝落防止			煙突のクラックを補修し強度の強い炭素繊維を1層~3層巻き付け樹脂を塗って積層することで、耐震補強と剝落防止になります。 薬品タンク防液堤はガラスマットと耐薬品樹脂を使って、FRPライニング施工も手がけています。	 クラック、断面修復後、炭素繊維で補強する

★ アスベスト(煙突内面断熱材、配管・タンク保温材、パッキン、他)の調査 (特定建築物石綿含有建材調査者) / 施工計画・施工・処理も承ります。